

2025 年度 保育所における自己点検・自己評価（筑後二川保育園）

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かしていきます。

[評価・記入の方法]・A B C Dの4段階評価です

・意見、改善策について話し合いを行い
記述しています

A：十分できている
B：だいたいできている
C：やや不十分
D：改善を要する

[評価者] ・園長、主任、副主任、リーダー保育士（計6名）

項 目

○保育の計画の作成と実施に関する評価

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか		○			・現在の乳幼児の実態を職員会議などで具現化し、より現状に添った保育目標を設定した。 ・自然豊かな特色を最大限に生かし、戸外で伸び伸びと過ごす事で、子どもの知徳体に働きかけるよう努めた。 ・園内研修や職員会議で意見の交換を行い、些細な事でも共通理解するように努めた。
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか		○			
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか		○			
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか		○			
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	○				
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか		○			・個別指導計画を作成し臨機応変な対応に努めている。 ・保育のPDCAを意識し、計画を立て実施し、うまくいかなかった箇所は反省し、次につなげていくように記録などの取り方に工夫をしている。 ・保育所保育指針に基づいた各種マニュアルを作成し、保育に努めている。
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか	○				
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか		○			
	(4)素材・用具を適切に活用しているか	○				
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか		○			
日時程	(1)1日の流れ（デイリープログラム等）は、現行でよいか	○				・発達や年齢に応じた生活リズムが無理なく作れていると思う。
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か	○				・園での行事は計画・実施の後の反省を各クラスや職員会議でしっかりと行い、次年度の改善につなげている。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	○				
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか		○			

		(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか		○			・行事などは保護者の意見や願いに添えていると思う。
		(5)保護者の願いや意見を取り入れているか		○			
給食について	(1)給食献立は、園児に対しての工夫や配慮をしているか			○			・旬の食材や、行事に合った献立を立てていると思う ・食材の安全・衛生管理はもちろん、離乳食やアレルギー食に対応できるよう計画的に給食会議を行っている。
	(2)園児の年齢（月齢）を考慮した食育計画で、食育を実施しているか		○				
	(3)食材の安全・衛生管理に努めているか		○				
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか		○				・個人情報については、十分に気を使い取り扱っている。 ・公文書や個人情報の受諾、発送、処理は適切に行っている。 ・守秘義務を遵守し、名簿の作成・利用・破棄も適切である。
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか			○			
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか			○			
施設・設備	(1)施設内外、設備の安全点検を計画的に作成・処理しているか			○			・点検・消毒も定期的に行い安全と衛生を保っている。 ・来園者確認、門の施錠開錠は決まり通り行っている。また、不審者対応訓練として筑後警察署からの指導を受けている。 ・保護者への連絡の一つの方法として掲示板を活用した。
	(2)遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか			○			
	(3)不審者等に対応する周到的配慮を行っているか			○			
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか		○				
出納・経理		(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか	○				・問題なく処理出来ている。
開かれた保育所づくり	他施設・他機関との交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか		○			・学校、消防、警察、などとの交流は子どもの健康や安全に即した計画となっている。 ・幼年消防などでは市内の園児と交流することが出来ている。 ・リーダー的立場の職員の職務をより明確にし、職員会議などを通じて打ち合わせや共通理解の機会を持ち、よりよい援助が出来るように努めている。 また、職員会議以外にも臨時的に短時間の打ち合わせや文書回覧を行うことにより、正職員だけでなく臨時職員などへの情報の共有が出来るように努めた。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事が出来るような配慮や援助・支援を行っているか		○			
		(3)リーダー的立場にある職員同士が、打ち合わせを行うと同時に、職員一人ひとりの保育に対する理解を深め、子どもやその保護者の援助について共通理解を図っているか		○			

開かれた保育所づくり		(4)学校公開日やその他の学校行事等に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか		○			・学校行事などへの参加はまだ案内が届かない状況である。 ・就学時検診後などに入学予定児童の情報交換を要録や電話、面談などで行っている。
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動や保育、家庭支援に生かしているか		○			
	家庭・地域社会との連携	(1)ニーズに適切に対応し、保護者以外も対象にした参観日（園庭開放等）を設定しているか		○			・ファミリーデー、運動会、生活発表会では祖父母や地域住民も参加できるように設定している。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か		○			・毎月第3金曜日に保護者以外を対象にした「園見学」を設定し、園の説明や園庭の開放をしている。
		(3)（乳）幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか		○			・地域行事への参加も再開した。
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか		○			
	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭やテラス、保育室等を開放しているか		○			・園見学を受け付けるなど地域の保育園としての役割が果たせるように努めた。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか		○			・保護者を対象とした子育ての学習の機会は外部研修や講座などの案内をするに留まっている。
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか			○		・「気になる子ども」や「家庭」に関しては、筑後市の関係機関や児童相談所などの専門機関と連携を図り、その都度適切な対応が出来ていると思う。
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか		○			
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか		○			
	情報の発信	(1)園だより、クラスだより、ホームページ等で施設の情報を提供しているか	○				・園だより、クラスだより、ホームページ等で施設の情報を安定的に提供している。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか		○			・玄関前の掲示板を地域の情報共有の場として活用している。
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか		○			・保護者会役員の意見を聴くなど保護者の意見を伺い反映できるところは反映した。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか		○			

総評・課題

総合評価 【B】

今年度は「事故防止及び健康安全管理」に今まで以上に力を入れた。また職員一人一人の職務と役割を明確にすることで、専門職としての意識の変化がみられてきている。これは子どもの最善の利益を担保するための保育の質の向上にもつながる。次年度も引き続き取り組んでいきたい。